

講 座 名	世界史 B	教 科	地理歴史科	科 目	世界史 B
開 講 学 年	3 学年	履 修 区 分	選択	単 位 数	4
教 科 書	高校世界史 改訂版 (山川出版社)				
教 材	なし				

1 科目の目標・学習内容

この科の目標 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
--

2 学習の到達目標

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用 of 技能	④知識・理解
世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会を主体的に生きる社会の一員としての責任を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付け、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

3 学習計画

月	単元名	特に培いたい 資質能力	学習内容	単元の評価規準	評価方法 【評価規準】
4	1部 諸地域世界の形成と交流 序章 人類の出現 1章オリエント世界と地中海世界の形成 2章サハラ砂漠以南のアフリカ 3章南アジア世界の形成	『知識・技能』 『思考力・判断力・表現力』 『主体性・積極性』	オリエンテーション 1オリエント世界の形成 2地中海世界の形成とオリエントの融合 3ローマと地中海世界の成長 4ローマ帝国周辺の西アジア	関】 人類の出現と進化の過程、並びに生産経済への変化に関心・追究している。 思】 生産経済の成立と国家組織の成立の過程を考察し表現している 技】 人類の進化や移動をグラフや地図から読み取ることができる 知】 人類の出現と進化、農耕・牧畜の開始とそれに伴う人類の生活、並びに歴史上の変化について理解している。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④小テスト 活動観察
5	4章東南アジア世界の形成 5章 東アジア世界のあけぼの		1中華文明の形成 2秦漢帝国と東アジア		
6					
	前期中間考査				

7 8 9	6章中央ユーラシア世界の形成と展開 7章東アジア世界の変動と再 8章イスラーム世界の形成と拡大 9章ヨーロッパ世界の形成 10章ユーラシア大帝国の出現	『知識・技能』 『思考力・判断力・表現力』	1 中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現 2 古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動 1 ユーラシアの変動と東亜世界 2 東亜諸地域の成長と自立 1 イスラーム文明の誕生 2 イスラーム世界の拡大 1 地中海北方へ広がるキ教 2 西欧の成長と拡大 3 封建社会の解体と王権の伸張	関】東アジアにおける古代文明の発生と、日本の位置づけに関心がもてる 思】イスラームが地域・民族をこえ拡大した理由と影響について考察表現できる。 技】資料・地図などを活用して、イスラームの特色を考察できる。 知】欧州社会で封建社会の成立・教皇権と皇帝権の対決などの観点から総合的にとらえることができる。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④小テスト 活動観察
	前期期末考査				
1 0 1 1 1 2	2部海洋による世界の一体化 1章アジア諸地域の栄華と成熟 2章大規模な分業体制の成立 3章ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋三角貿易 4章環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 5章イギリスの覇権と世界システム 6章世界の一体化の進展とアジアの変容	『主体性・積極性』	1 明の国際秩序と東東南亜 2 帝国清と亜諸国の成熟 3 イスラーム世界の成熟 1 大航海時代 2 ルネサンスと宗教改革 3 スの盛衰と蘭の繁栄 1 17世紀の危機と西欧諸国の主権強化 2 東欧諸国の台頭と欧州文化の成熟 3 英仏の覇権争いと大西洋三角貿易 1 世界最初の工業化 2 アメリカの独立 3 仏革命と国民国家の誕生 4 南米における環大西洋革命 1 英国の覇権と自由主義 2 欧州に広がる国民国家 3 米合衆国の拡大国家統合 1 イ諸国の変容と模索 2 南亜・東南亜の植民地化と社会変容 3 東亜諸国の変容と模索	関】「大航海」・ルネサンス・宗教改革がヨーロッパ世界に変革をもたらし、新たな時代が展開されていたことに関心をもち、追究している。 【思】「大航海」により始まった西欧中心の世界の一体化が、現代の南北問題の起点でもあったという点を考察し、表現できる。 【技】主権国家・重商主義などの言葉を概念図などを用いて表現できる 【知】近代世界システムの概念を理解するとともに、ヨーロッパ内部では、主権国家体制が形成されていたことを理解している。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④小テスト 活動観察
	卒業考査				
	3部地球社会形成の模索 1章世界の一体化の完成とその影響 2章世界大戦の時代 3章東西冷戦から多極的国际社会へ 4章相互依存を深める世界		1 帝国主義と世界の分割 2 アジア知識人による体制改革の試み 1 WW1と社会主義革命 2 WW I と亜のナショナリズム 3 大衆社会の到来とファシズムの到来 4 WW II とその惨状 1 米国の覇権と冷戦の展開 2 多極化のはじまり 3 米ソ冷戦時代の終焉 1 社会主義圏の解体と国際秩序の変容 2 グローバル化の動きと世界の変化	関】世界大戦が総力戦であることを理解・追究している 思】総力戦を支えた社会体制と、その影響について考察・表現できる。 技】写真や映像などの資料を活用し総力戦の実態や社会的影響を例示できる。 知】「戦勝国」の、戦後処理を視野にいった終戦までの動向に大きな相違があることを理解している。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④小テスト 活動観察

4 評価基準

2で示した4つの観点に基づき、学習活動への参加意欲や課題の提出物の内容や取り組み、及び定期考査などから、総合的に評価します。